

2023年

3月号

ふれあいネットワーク



やめ社協だより

発行●社会福祉法人八女市社会福祉協議会(八女市社会福祉会館内) 〒834-0031 八女市本町599番地

社会福祉法人の社会貢献活動による買い物支援が始まりました

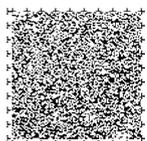


参加者が希望される市内の店舗に限り、買い物支援を実施される予定です。

今後、月1回程度、参加者の皆さまからは、「久しぶりにスーパーで買い物できて楽しかった。」「次回も参加したい。」といった喜びの声があがっていました。

1月19日(休)、社会福祉法人明和会様(以下陽だまりの里)の社会貢献活動として、買い物支援を実施されました。きっかけは、生活支援コーディネーターに、ふれあいサロン「本よかろう会」の参加者より、「運転免許証を返納して買い物へ行くことができない。」「みんなでおしゃべりしながら買い物に行ってみたい。」といった、買い物に関する困りことや相談が寄せられたことでした。

寄せられた困りごとや相談について、ふれあいサロン開催地域の陽だまりの里様に買い物支援について、相談させていただいたところ、「地域の方々には、日頃からお世話になっているので、地域の役に立てるのであれば、ぜひ協力させていただきたい。」と賛同していただき、今回の買い物支援が実現しました。





「冬あそびと豆まき会」が開催されました

1月22日(日)、多世代交流館「共生の森」において「冬あそびと豆まき会」が開催されました。

毎年行われていた事業ですが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、3年ぶりの開催となりました。オープニングでは、八女神太鼓による迫力ある太鼓演奏が行われました。

当日は、シニアクラブや民生委員児童委員の皆さまにご協力いただき、会場内では、「かるた・新聞遊び・たごつくり」が行われ、子どもからおじいちゃん、おばあちゃんまで多くの方々の世代を超えた交流がみられ、会場はとても賑わいました。

他にも豆まき会が行われ、今年の干支である『つばき年』生まれの方が袴を着て屋上から『豆まき』される姿にたくさんの方々の笑顔が溢れ、会場は大盛況でした。



▲かるた遊びの様子



▲おには一そと！ふくはーうち！



▲おにがきたー



▲新聞遊びの様子

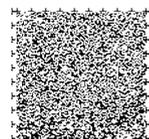
この事業は、今年度皆さまにご協力をいただいた歳末たすけあい募金より、活動費の一部を助成して実施されています。



「ひきこもり支援講演会」開催のご案内

学校に行きたくても行けない、外に出たいけどその一歩を踏み出せない、このような「生きづらさ」を感じながら生活している人たちがいます。また、当事者にどのように接してよいか分からない、その家族にどんな手助けができるか分からないといった悩みを抱えている方もいます。

八女市社会福祉協議会では、不登校やひきこもりの現状及び課題に気づき、地域の皆さまと協力しながら進める支援等について考えることを目的に左記のとおり講演会を開催します。



●日時 3月11日(土) 13時30分～15時

●会場 八女市社会福祉会館 3階大会議室

●講師 教育文化研究所

代表 長阿彌 幹生 氏

●内容 不登校・ひきこもりの現状とその基本理解

●受講者 不登校・ひきこもり支援に関心のある方

受講料 無料

●問い合わせ 八女市社会福祉協議会

☎23-0294

赤い羽根共同募金へご協力いただき ありがとうございました



令和4年度に八女市の皆さまからお寄せいただいた募金総額

11,822,525円



令和4年10月1日から全国一斉に赤い羽根共同募金運動が実施されました。八女市でも、多くの皆さまにご協力いただき、**総額11,822,525円**の募金が集まりました。集まった募金の約78%は、下記のとおり地域福祉の推進を目的として、八女市内の地域福祉事業へ配分されます。他にも、募金の一部を毎年「災害等準備金」として積み立てており、災害発生時のボランティア活動を支援しています。

11,822,525円

令和4年度に八女市の皆さまから
お寄せいただいた募金総額



- 福岡県内の福祉施設の車両購入や施設整備
 - 災害発生時のボランティア活動の支援等に活用
- 約22%**



八女市内の地域福祉事業へ

約78%



高齢者福祉のため

- シニアクラブ活動支援
- 在宅介護者の会活動支援
- ボランティアによる配食サービス事業 など

障がい児・者福祉のため

- 障がい者福祉活動支援
- 共同作業所運営支援
- 手話や音訳活動支援 など

児童・青少年福祉のため

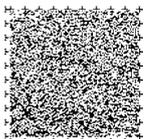
- 子ども食堂や学習支援事業
- 福祉読本「ともに生きる」教材費（福祉教育推進）
- 母子寡婦福祉活動支援 など

住民福祉のため

- ふれあいサロン運営支援
- 福祉のつどいや福祉委員活動支援
- ボランティア活動支援 など



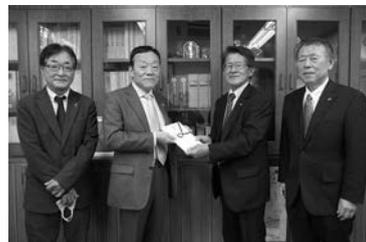
贈呈いただいた寄附金は、市内の子ども食堂の支援をはじめ、フードバンク事業充実のために活用させていただきます。ご支援ありがとうございました。



北嶋芳行会長からは、「コロナ禍で活動ができなかったため、何かできることがないかと考えていた。これからも継続した支援をしていきたい。」と話されました。

今回は、八女ライオンズクラブ様主催の地域支援事業チャリティゴルフ大会で集まった募金を寄附金として贈呈いただきました。

令和4年12月8日(木)、八女ライオンズクラブ(北嶋芳行会長)様より八女市内の子ども食堂及びフードバンクに寄附金を贈呈いただきました。



**八女ライオンズクラブ様
より寄附金を贈呈**

●福祉活動報告

●講座開催報告



暮らしと福祉の講座を開催しました

日頃から暮らしの知識を高め、いきいきとした生活につなげていくことを目的に3回シリーズで「暮らしと福祉の講座」を開催しました。

1月16日(月)は、資生堂ジャパン(株) ソーシャルエリアパートナー様より、「化粧をすると筋力や脳のトレーニングにつながり、フレイル(心身の虚弱)予防となり化粧をすることで、外出への意欲が高まり社会参加へのきっかけとなる。」ことを学びました。

1月23日(月)は、一般社団法人iACP公認もしバナマイスターよりの講義いただき、もしバナゲームの体験を行いました。もしバナゲームとはあなたと大切な誰かが「もしものための話し合い」をするきっかけを作るゲームですが、参加者の皆さんは、終活のこと等、「これからを考えるきっかけとなりました。」

1月30日(月)は、社会保険労務士宇野慶一氏より「老後2000万の問題」や「年金の仕組み」について学びました。



▲1月23日の様子



▲1月30日の様子



▲1月16日の様子

●施設活動紹介

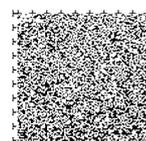


ゆいのもり「左義長」を行いました！

1月13日(金)、高齢者生活福祉センター居住者・デイサービス利用者・特別養護老人ホーム入所者と、毎年恒例の左義長(さぎちょう)を行いました。地域ごとに呼び方は異なりますが、全国で広く見られる風習です。

「左義長」とは、小正月を中心に行われる火祭り行事のことで、門松や正月飾りで出迎えた歳神を焼くことで災と共に見送る意味があります。ゆいのもりでは、長い竹を3本組み、周りを孟宗竹や杉の葉を入れ、門松や正月飾りを焼きました。当日は雨の予報でしたが、開催直前に雨が止み、無事に実施することができました。

代表4名の方に点火を行っていただき、竹が燃える際は「バン！バン！」と大きな音を立てながら勢いよく燃え上がりました。近所の方も参加され、皆さんと拍手しながら今年の健康や幸福等を祈願しました。その火で焼いた餅をきな粉餅にして食べていただき、皆さん大変喜ばれました。



地域サロン「秋桜会」にお邪魔しました

公民館出前講座「ミュージックトレーニング」と題して、三線ロビンスの方による講座が行われました。昔懐かしい映画のポスターを見て、イントロクイズ等のゲームで大盛り上がりです。正解者には豪華賞品もあります。また、移動図書館ブックランド号の巡回があり、皆さん、おもしろい思いに本を見たり借りたりされています。ブックランド号のスタッフの方がおすすめの本を紹介され、本を借りられた方に話を伺って、「図書館までは遠く、こうやって来てもらうと好きな本をゆっくり読むことができるので助かる。」と話されました。

地域サロンは、皆さんとおしゃべりしたり、運動や脳トレ、歌をうたったりゲームをしたり、そこに移動図書館の巡回もあり、参加者の皆さんの笑顔が絶えない趣味も楽しめるとても素敵な場所です。



福祉ってなあに？ 星野小学校で福祉出前講座を開催

1月23日(月)、星野小学校3年生を対象に視覚障がい者との交流及びアイマスク体験を行いました。

視覚障がいを学ぶことについては、「普段の生活で目に頼って生活をしているけど、見えないとはどういうことだろう。見えないということについて学びたい。」と児童の皆さんが、自分たちで話し合っただけで決まりました。

まずは自己紹介。児童の皆さんは、点字版を使った名前カードを当事者の方に渡し、一人ずつ名前の確認をされました。

アイマスク体験では、タオルで目を隠し、体育館に設置したコースを二人一組になって声をかけながら歩きました。「ここを歩いているのかわからず不安だった。」という意見のほかに「早めの声掛けをたくさんしてくれただけで安心した。」と細かい声掛けの大切さを学ばれた様子でした。

ガイドヘルパーの方からは、目が見えないということは音が大切であること、会話や相づち

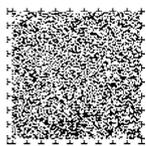


をたくさんして「コミュニケーションをとりながらサポートをしていることを教えてもらいました。当事者の方からは、点字版で

「星野小学校3年生の皆さん、今日はありがとう。」と目の前でメッセージを作っていた皆さんの動きの速さにびっくりしていました。点訳された広報誌を手で読まれたり、ピアノの演奏と一緒にゲームをしたりして児童の皆さんにとって、「福祉」とは思いやり「ということ」が理解できた、大変貴重な体験だったと思います。

最後の意見交換では、「ピアノの練習や点字の勉強はいつやっていたのか。」「自宅の生活はどうされているのか。」「等の質問もたくさん出ていました。「目が見えない」ということは本当に困ると思う。今日、学習できてよかった。」という児童の皆さんの素直な感想が発表されました。

「福祉ってなあに?」今回の学習では児童の皆さん、それぞれ気づきがあったのではないのでしょうか。





ほっとフレンドふぁーむでレタスを収穫しました！

ほっと館やめでは、ひきこもり等により、外に出る機会がない方や何かきっかけがほしい方への支援として、「ほっとフレンドふぁーむ」で農作業をしています。

11月に植えたレタスがすくすくと育ち、1月上旬に「ほっと館やめ」利用者2名と収穫作業を行いました。寒空の下ではありましたが、立派に実ったレタスを収穫することが出来ました。

収穫したレタスは袋詰めをして、公共施設のご協力を得て、販売しました。

今後も、様々な苗植えや収穫作業等を通して「参加支援」を実施していきます。



3月の行事予定

- 3月14日(火) 10:30～ お料理教室
(※3密対策を十分にとります。新型コロナウイルス感染症拡大の状況によっては中止になる可能性があります。)
- 3月11日(土) 13:30～ 笑福クラブ親の会
(不登校ひきこもり親の会)定例会
(ひきこもり支援講演会(P2)に参加)
- 3月25日(土) 14:00～ ひまわりの会定例会

精神対話士による無料相談会 (※毎月第2土曜日・第4木曜日)

- 面談日：3月11日(土)・23日(木) 13:30～15:30
(事前予約制となっております。事前にお電話ください。)
- ※3月は精神対話士によるほっと相談会が実施されます。予約は不要です。
面談日：3月4日(土)・18日(土)・25日(土)
- ※新型コロナウイルス感染症拡大の状況によっては中止になる可能性があります。

※「ひまわりの会」は、生きづらさを感じる子の保護者、そしてそんな皆さんをサポートする人の集まりです。



ほっと館やめ(上陽)より ～初詣と書初めをしました～

今年初めての利用日には、八女市長野の宮地嶽神社と北川内公園の室園神社へ初詣に行きました。天気も快晴で、ゆっくり散策しながらお参りできました。利用者の中には、写真撮影が好きな方がおられ、カメラをお渡しし、自由に写真を撮りながら神社へ向かいました。神社に着くと両手を合わせてしっかりとお参りされていました。

お参り後はほっと館へ戻り、書初めをしました。筆を持つのは久しぶりのことと、ほどよい緊張感の中、利用者の皆さんは自分で考えられた『星』や『星空』の漢字をはじめ、少し難しい漢字にも挑戦してみようと『紫』『地球』の漢字も書かれました。また、今年の目標として『減量』や『挑戦』と書かれる等、それぞれ上手く書くことができ、満足された様子でした。



▲利用者の撮影写真



▲書初め『星空』



▲宮地嶽神社
何をお祈りされているのかな



▲書初め『減量』

(※右記のQRコードよりほっと館やめホームページをご覧になれます。)



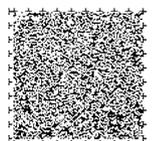
問い合わせ

ほっと館やめ

☎22-8315 携帯090-6893-5701
メールアドレス：hottokan@road.ocn.ne.jp

ほっと館やめ(上陽)

☎24-9820 携帯090-7457-4053
メールアドレス：hottokanjyoyo@gaea.ocn.ne.jp



※ほっと館やめでは、✉メールでの相談も受付けています。お気軽にご活用ください。



心配ごと相談一部廃止について

現在、八女市社会福祉協議会では、身近な相談窓口として、心配ごと相談事業を実施しています。近年、各機関による相談窓口が充実したことを踏まえ、令和5年度より、上陽支所（毎月第4水曜）、立花支所（毎月第2水曜）で開催しておりましたが、心配ごと相談を廃止することになりました。なお、本所（毎月第1・3・5水曜）・黒木支所（毎月第3水曜）での心配ごと相談は引き続き、実施しますので、お気軽にご利用ください。



成年後見制度(市民公開講座)のご案内

認知症や障がい等により、判断能力が不十分な状態になった場合に、本人を支える仕組みである成年後見制度を知り、自身の老後や家族の将来について考えてみませんか？

- 日時：3月15日（水） 14時～15時30分
- 場所：八女市社会福祉会館（3階大会議室）
- 講師：八女市社会福祉協議会 石井隼介（社会福祉士）
- 定員：50名
- 参加費：無料
- 問い合わせ：（主催）八女市介護長寿課 地域包括支援係 ☎24-9466

地域献血のお知らせ

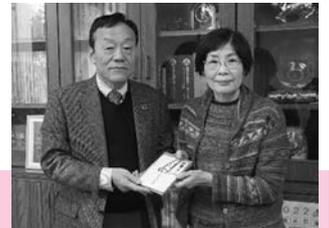
- 忠見地区：3月6日（月）
会場：株式会社熊谷光玉園
10時00分～11時30分／12時30分～15時30分
- 立花地区：3月14日（火）
会場：八女市立花市民センター
10時00分～12時00分／13時00分～15時30分
- 黒木地区：3月17日（金）
会場：黒木地域交流センター「ふじの里」
10時00分～12時30分／13時30分～15時30分
- 上陽地区：3月23日（木）
会場：八女市農業活性化センター
10時00分～12時00分
- 上妻地区：3月23日（木）
会場：八女市総合体育館
14時00分～16時00分
- 三河地区：3月30日（木）
会場：八女市立三河小学校
10時00分～11時30分
- 長峰地区：3月30日（木）
会場：マンガ倉庫 八女店
13時30分～15時30分
- 問い合わせ：八女市献血推進協議会(八女市社会福祉協議会内) ☎23-0294



ハイジ福祉会「ヤマト福祉財団 小倉昌男賞受賞」

令和4年12月7日（水）、第23回「ヤマト福祉財団 小倉昌男賞」贈呈式が東京都千代田区の日本工業倶楽部で開催されました。この度、社会福祉法人ハイジ福祉会理事長 山口由紀子さんが受賞され、八女市社会福祉協議会に受賞のご報告とご寄附をいただきました。

ハイジ福祉会の取り組みはヤマト福祉財団ホームページでも紹介されておりますので、ぜひご覧ください。



【ヤマト福祉財団とは】

ヤマト福祉財団は、心身に障がいのある人々の「自立」と「社会参加」を支援することを目的に、1993年9月にクロネコヤマトの宅急便の生みの親であるヤマト運輸株式会社元社長 小倉昌男氏（当財団初代理事長）により創設され、障がい者の自立を支援するための活動に取り組まれています。

【小倉昌男賞とは】

障がい者の仕事づくりや雇用の創出、拡大、労働条件の改善等を積極的に推し進め、障がい者に働く喜びと生きがいをもたらしている人の中から、毎年2名の方に『ヤマト福祉財団 小倉昌男賞』が贈られています。



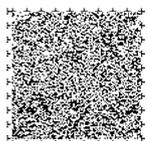
ボランティアを募集しています！

「チャイルドサポートネットワーク」は、地域の子どもの成長と学びを支援しているボランティア団体です。子どもの未来と可能性を信じ、地域の子どもは地域で育み、見守り育てる「共育」という文化を広げていくことを目標に活動されています。

「チャイルドサポートネットワーク」では、学習支援と子ども食堂に協力いただけるボランティアを募集しています。

	土曜クラス	Hoshizoraクラス
活動日	毎週土曜日	毎週火曜日
場所	おりなす八女	山内集会所
内容	子ども食堂の食事づくり 小・中学生の学習サポート	小・中学生の学習サポート

- 問い合わせ：八女市社会福祉協議会 ☎23-0294



八女市社会福祉協議会
公式LINEアカウント

友だち追加用QRコード



聞こえる安心、防災ラジオ

八女市の防災等緊急情報はFM八女【80.1MHz】を通じて放送します。



リサイクル適性(A) 環境に配慮した植物性大豆インキを使用しています。

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

相談
無料

3月
4月

各種相談のお知らせ

秘密
厳守

Table with 4 columns: 社協本所, 立花支所, 黒木支所, 上陽支所. Rows include dates for '心配ごと相談' and '無料法律相談'.

相談窓口については、ご都合のよい会場へお越しください。

- List of names and locations for '社協本所' and '上陽支所'.

香典返し寄附

ご寄附ありがとうございました
令和5年1月1日～1月31日届



寄附金は、地域のサロンやボランティア活動等、地域の身近なところで行われる福祉活動に大切に使用させていただきます。

- Large list of names and locations for '一般寄附'.

額控除が受けられます。

物品寄附

野田製菓 様
黒棒330本

一般寄附

上北本分 城後ナ才子 様

- List of names and locations for '一般寄附'.

